

実地研修プログラム 大阪府地域生活定着支援センター（第1回）

研修のアピールポイント

センターの特徴

- センター発信で様々な「アクション」を起こすことで、地域や司法機関との具体的な「協働」に繋げる取組みを多数実施。多領域の関係者とネットワークを構築している
- センター職員一人ひとりの強みを生かすチームづくりを実践。情報共有や面談、研修方法等も工夫

官民協働の実践

- 啓発活動、意見交換会、研修企画・運営などの「アクション」を起こし、被疑者等支援会議への参加や居住支援協議会との連携など、「協働」に繋がっている
- 入口支援では、毎月の被疑者等支援コア会議および隔月の全体会議を通して協力体制を構築

1 日目

オリエンテーション：法人の成立ちや理念、課題、目指す方向性等

I.官民協働： ネットワーク構築の手法

地域の福祉事業所や市町村行政等とのネットワーク構築を目指す研修企画・運営について説明

II.援助技術：
フォローアップ業務の効率化
@大阪法務少年支援センター
法務少年支援センターの「地域援助」を活用したカンファレンスに参加

II.援助技術：
フォローアップ業務の効率化
「GOGO OT NET／作業療法士によるオンライン作業療法」の目的や支援効果等をセンターとOT双方から説明。実ケースを見学

2 日目

III.事務業務：組織運営について
朝礼に参加し日々の組織運営を見学。業務分担やSV仕組み等、組織マネジメントを説明

II.援助技術：対象者面談の工夫

@大阪保護観察所
少年とのテレビ面談の様子を見学し、関係性の構築方法や面談の工夫について説明

I.官民協働：保護観察所との連携方法

@大阪保護観察所
信頼関係と連携体制を構築してきた経過を、観察所職員及び定着センター各立場から説明

I.官民協働：重層訪問巡回への同行

@箕面市総合保健福祉センター
重層担当者・府地域福祉課・保護観察所統括観察官が集う、意見交換会に同席。定着事業の啓発や市町村の課題キャッチ、今後の連携糸口を探る場面に立ち会う



ブレスト：受講者の課題についてブレインストーミング

3 日目

III.事務業務：朝礼研修を振り返り大阪センター全職員と学びの共有

I.官民協働：
被疑者等支援業務のスキーム作り
入口支援の経過及び被疑者等支援業務のスキーム作りや現状を説明

I.官民協働：
被疑者等支援コア会議へ参加
@大阪府社会福祉会館
検察庁再犯防止対策室、保護観察所、弁護士会、大阪府地域福祉課による個別ケース検討会に同席



実地研修3日間の振り返り
(以降、自由参加)

I.官民協働：性について考える研修会「串カツの会」
ネットワーク構築手法の実践を見学

受講者の声

「対象者が帰ってくる地域を耕しておく」という言葉が印象的で、特に胸を打たれました。そもそもの地域の基盤作りが大切なのだと気づかされました。



定着事業の研修が必要なのはもちろんですが、その地域の背景や歴史、受託法人の思いが知れることは、大変よい経験でした。

